

# 五常

編集発行

コミュニティ

協議会

広報委員会

人口

7,161人

世帯数

2,684世帯

18年10月

## 第3回五常フェスタ開催さる



十月二十一日に五常小学校において「第3回五常フェスタ」が開催されました。

すっきりと晴れた秋空のもと大勢の来場者に恵まれ、また多くの方々のご協力もあり、無事に全てのプログラムを終えることが出来ました。PTAを代表しまして皆様に心から感謝申し上げます。「こども達にふるさとのお祭りの思い出を」という趣旨で始まった「五常フェスタ」も数えること三回目。毎年

役員が入れ替わるPTAでは引継ぎが難しく、未経験者が大半なので準備が大変なのですが、その分フレッシュな企画やアイデアが生れ、個性豊かな出店内容となりました。

五常小和太鼓クラブ(上の写真)、四中ブラスバンド部の演奏で幕を開け、体育館では空手や少林寺拳法の演舞が行われました。また五常小グラウンドを練習場にする少年野球チームや地元ボーイスカウトからも参加があり、それぞれ皆を楽しませてくれました。

PTAでは学年委員や専門委員の方々を中心としてゲームや販売、映画鑑賞の他にクラフトや体力測定などが行われ各ブースとも大盛況でした。また今回初の試みとして、PTA本部主催の「大声コンテスト」や教職員主催の「ホイッスルコンテスト」が行われ大勢の参加者で賑わいました。これらのイベントは子どもの安全・防犯意識を高める狙いもあり、その意味でも非常に有益であったと思います。

他にも「五常小をホタルの郷に」

実行委員会とソフトバレーボールチームが合同でバザーを開催したり、縄編みの実演会や五常校区コミュニティの自主防災会による防災グッズやパネルの展示など、多種多様な出店がフェスタを大いに盛り上げてくれました。

今回大きなトラブルや怪我人もなく運営が出来たことがなによりでしたが、それを影でサポートし労してくださった方々の働きを忘れることは出来ません。

フェスタ立上げ当時から五常校区コミュニティが後援という形で支援を続けてくださっています。今回もパトロールや立ち番、受付、救護など多岐に渡りご協力を頂きました。

子どもを愛する、地域を愛する方々の手によって、今後も「五常フェスタ」が続けられていくことを心からねがっております。引き続き温かい目で見守ってください。ご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

五常小PTA会長

水谷 満

### 五常フェスタを終えて

九月二十一日(土)晴天の下で「五常フェスタ2006秋」が五小小学校にて盛大に行われました。当日は、お年寄りから子供まで多くの方に来て頂き、これまでも増して地域に根ざしてきたのではと、思います。

五常校区コミュニティ協議会も、より安全にこの五常フェスタが行なわれるよう、後援という形で参加させて頂きました。具体的には、防犯委員(一〇名)による校門での受付・東門での入校車両のチェック、体育館での入退場の誘導、校内巡視。



迷惑駐車の取り締まり

交通指導員(六名)による西門付近押しボタン信号・以楽園交差点・六丁目バス停付近での交通安全指導、正門付近の駐車車両の監視、学校周辺の駐車車両への迷惑駐車警告ステッカーによる指導。



交通安全の指導風景

青少年育成指導員(二名)による自転車整理。



整然と配列された自転車

民生委員・児童委員(四名)による救護体制の整備です。本部役員(七名)も随時手薄になったところの応援に回りました。PTAの方だけでは、カバーしきれない所をフォローさせて頂いたというところです。



防災の展示をみる家族

また、五常校区自主防災会は防災パネルの展示と防災グッズの展示販売をさせて頂きました。防災は日頃の心がけが大事です。様々な機会に啓発活動をしていきたいと思っています。

各委員の方々には、お忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。

このような地域での交流の場を通して、人と人とのつながりがよりいっそう深まればと思います。

イベント担当 副会長

雪下 和卓

編集後記

中司市長は、広報「ひらかた」十一月号で、「市内の小中学校では恒例の区民体育祭をはじめ様々な催しが行なれています。役員の方々は皆大変なご苦労をされたと思いますが、こうした催しを通じて住民のふれあいを深めることが良い地域づくりの原動力になります」と述べておられます。



巡回中、今年始めて実施した防災の展示を熱心に読んでいる一人の少年の姿を見かけました。今年の五常フェスタでは行事や展示の意義を改めて痛感した次第です。

(編集子)